



1周年を迎えた 産研定例記者会見

大阪大学
産業科学研究所

The Institute of
Scientific and Industrial Research,
Osaka University



- 産研定例記者会見 実施から1年を迎えて
- COI 大阪大学拠点発足記念行事
- 高校生の施設見学
- 産研フェスタ
- インターフェックス・ジャパン
- 量子ビーム科学研究会
- ものづくり教室
- 第72回 産研テクノサロン
- 産研若手人材育成派遣ワークショップ
- 産研創立75周年記念事業日程

2014.10

vol.
53

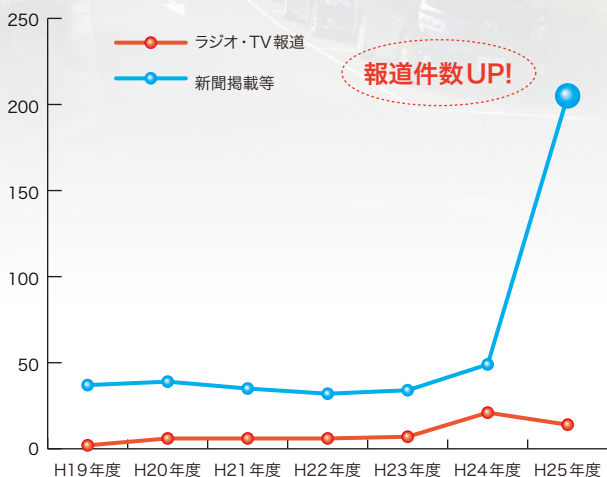
定例記者会見実施から1年を経て メディアに注目される産研へ！

産研では、2013年7月より定例記者会見を毎月第3火曜日に大阪大学中之島センターで実施しています。定例記者会見実施1周年を迎えた7月の第13回定例記者会見後、在阪報道機関との懇親会も開催いたしました。

そもそも、定例記者会見の実施は、産研のポリシーである「産業に生かす科学」を実践するための具体的な行動の一つです。学会での発表だけでなく、常に社会や産業界に情報を発信することで、科学と社会を繋げていきたいと考えています。

記者会見では、産研に所属する研究者が、研究動向、成果、今後の発展等について、時にはデモンストレーションも交えながら分かりやすく発表しています。その結果、定例記者会見実施前年から比べると、報道件数がこれまでよりも大幅に増えました。

定例記者会見の実施により、新聞の科学面からテレビの情報番組まで幅広く、産研の研究内容が紹介され、社会や産業界での認知度を高めていくことで産学連携の活性化を図り、より社会に貢献できる研究施設として日々進化しています。



記者懇談会の様子



定例記者会見の ちょこっと裏側！ 産研オリジナルバックパネル

記者会見時に発表者のバックにある「記者会見用バックパネル」記者会見の必需品です。第9回の記者会見までは、大阪大学のものを使っていましたが、第10回から産研のオリジナルのものを使っています。ところで、このバックパネル、なかなかの優れもので、自立し、広げれば2.2m四方の大きさですが、アルミ製の折り畳み式でコンパクトに収納できます。

研究者の皆さん、バックパネルを背に記者会見はいかがですか？



After

文部科学省の革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)大阪大学拠点 発足記念行事 開催される



平成26年7月2日 大阪大学銀杏会館



平成26年7月2日(水)に、大阪大学銀杏会館の阪急電鉄・三和銀行ホールにおいて大阪大学COI拠点発足記念行事が開催されました。

まず、午前10時30分からキックオフ会議が開催され、COIプロジェクトリーダーであるパナソニック(株)の上野山雄フェローより挨拶の後、COI研究リーダーの産業科学研究所の松本和彦教授より本COI拠点の研究概要の説明があり、続いてCOI研究推進機構企画推進室長の小倉基次特任教授より研究推進機構の構成、年間計画の概要等についての説明がありました。

また講演においては、医学系研究科西田幸二教授をはじめ、サテライトの金沢大学子どものこころの発達研究センター三邊義雄センター長、脳情報通信融合研究センター田口隆久副センター長、生命機能研究科八木健教授、(株)日立製作所合田徳夫研究員、産業科学研究所関谷毅教授、パナソニック材料デバイス基盤協働研究所西谷幹彦教授、産業科学研究所沼尾正行教授からそれぞれの課題に関するご講演をいただきました。

続いて午後3時45分から発足記念式典が開催され、まず初めに大阪大学平野俊夫総長からご挨拶をいただいた後、上野山雄プロジェクトリーダーから医脳理工の多岐にわたる新しい連携研究開発の進め方を今後の大阪大学と金沢大学の礎としたいとの挨拶があり、次に松本和彦研究リーダーより発足記念式典開催に至った御礼と挨拶、また、不撓不屈の精神で本プロジェクトを推進する旨の決意が述べられました。

ご来賓として、文部科学省科学技術・学術政策局川上伸昭局長(代理 木

村直人課長)、COIガバナリング委員会委員長の(株)三菱総合研究所小宮山宏理事長、COIビジョナリー統括チームリーダーの名古屋大学濱口道成総長、(独)科学技術振興機構の中村道治理事長にご臨席いただき、それぞれ叱咤激励の温かい祝辞をいただきました。

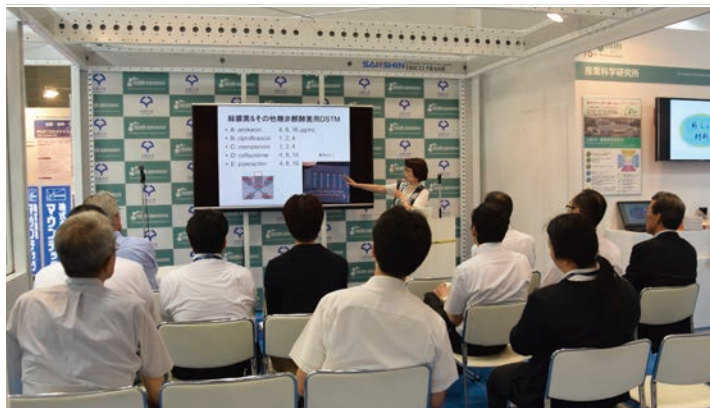
発足記念式典終了後、関係者全員での記念撮影を行い、次いでミネルパで意見交換会が開催されました。意見交換会では、COI研究アドバイザーの(株)日立製作所の小泉英明フェローより、大阪大学COIの今後の発展を大いに期待するとのご祝辞をいただき、また飛び入りでimec the NetherlandsのBert managing directorより挨拶があり、imecと阪大COIとの強固な連携を確約されました。続いてCOI研究アドバイザーの京都大学清水公治特任教授よりご祝辞と乾杯の御発声をいただきました。意見交換会ではご来賓と大学関係者、企業関係者が様々な話題について議論を活発に行われ、意見交換会のたけなわの際に馬場章夫理事・副学長よりご来賓の皆様やCOI関係者に発足記念式典ご出席の御礼と今後の発展に期待する旨のご挨拶をされました。

キックオフ会議の出席者119名、発足記念式典の出席者144名、意見交換会の出席者117名と全ての行事に大変多くの方にご出席をいただき、盛況のうちに記念行事が終了いたしました。ここに関係各位に厚く御礼申し上げます。



インターフェックス・ジャパンに出展

平成26年7月2日～4日の3日間、東京ビッグサイトにおいて日本最大の医薬品研究開発・製造技術の国際展示会「インターフェックス・ジャパン」が開催され、三進金属工業(株)との共同展示ブースにおいて、産研の生体・医薬関係の6研究室が研究成果の展示発表を行いました。今回の展示は、三進金属工業(株)の協力・支援により実現したもので、産研および大阪大学安全衛生管理部が三進金属工業(株)と安全な実験施設に関する共同研究を行っている中で、その成果を展示すると同時に、産研の研究成果の展示発表を行ったものです。展示ブース内の特設会場でのセミナー形式の発表は、各日午前と午後の2回行われ、多くのパイオ・医薬関係の企業関係者が来場する中で、関心をもつ方々がセミナーや展示パネルの発表者を訪れ、熱心に質問や意見交換が行われていました。



第72回(平成26年度第2回)産研テクノサロン

『大学教授が語る未来を開く新科学技術』と題して、今年度第2回目の会合が8月1日(金)開催されました。今回は初めての試みで、大阪梅田の富国生命ビルが会場となりました。講演では、今年の4月に着任された4名の新教授—量子システム創成研究分野の大岩顕教授、先進電子デバイス研究分野の関谷毅教授、知識科学研究分野の駒谷和範教授、先端ハード材料研究分野の関野徹教授—から、それぞれの研究内容と今後の展開について熱く語っていただきました。最後に会場である

『まちラボ』の運営にも関わっておられる富国生命保険相互会社の川口学様から「産学官民で進めるモノづくり支援と協調可能なCSR活動」についてお話をしていただきました。

初めて参加された方も含め、たくさんの方にご参加いただき、活発に情報や意見の交換が行われ、新たな分野への期待が感じられました。



未来研究イニシアティブ・基礎工学研究科未来研究推進センター・ 産業科学研究所量子ビーム科学研究施設 合同研究会「量子ビーム科学研究会」(2014年9月1日)

当研究施設を利用中あるいは利用を検討の豊中地区の教員、研究者のため、当施設と施設を利用した研究内容の紹介を目的として、未来研究イニシアティブ(基礎工、理などの多部署の教員からなる研究組織で研究会を開催)の方々と合同で研究会を、基礎工学国際棟(Σホール)セミナー室で開催しました。参加者約30名(産研所属9名)。

最初に、基礎工学研究科の芦田昌明教授が未来研究イニシアティブについて、理学研究科の豊田岐聡教授が基礎理学プロジェクト研究センターについて紹介されました。続いて、当施設の紹介を菅田義英准教授が、施設兼任の4研究分野の研究紹介を磯山悟朗、真嶋哲朗、吉田陽一、古澤孝弘各教授が行い、基礎工学研究

科の永井正也准教授、理学研究科の花咲徳亮、石川直人、久保孝史各教授がそれぞれの研究内容を紹介されました。

講演後の自由討議では、参加者および他の未来研究イニシアティブ所属の教員・研究者も参加して、当施設の利用による研究を議論しました。今回の研究会で、豊中キャンパスには当施設の利用を検討されている教員、研究者が多く、希望により産研で施設見学を含めた研究会を年内に行うことになりました。

写真は、研究会の講演終了後にΣホール玄関前で撮影しました。



第2回産研若手人材育成派遣ワークショップ

産研は、グローバル若手研究者を育成するため、平成24年度から学振(JSPS)競争的資金事業、総長裁量インターンシップ事業による3つの若手研究者海外派遣プログラムを実施中です。

これらのプログラムの説明と派遣帰国報告などを兼ねた第1回「産研若手人材育成ワークショップ」を、産業科学連携教育推進センター、産研院生会議、産研企画室の共催で今年3月13日に産研講堂にて開催し、第2回の同ワークショップを6月20日に同じく産研講堂で同共催のもとで開催しました(参加者:院生、教職員合わせて75名(第1回)、80名(第2回))。今回第2回は、プログラム代表の教授方による「派遣プログラム説明」、事務部担当職員による「海外派遣危機管理説明」に続き、昼食会を兼ねての「院生会議活動報告」と「スペシャルトーク(加藤研特別研究生 Fatma Yesilさん、安藤研助教 Alexey Taskinさん)」があり、次いで、11名の派遣帰国者からの報告会が行われました。



派遣帰国者の声

菅沼研M2松尾琢朗です。私は、1ヶ月間ノルウェーのNTNUに留学させて頂きました。NTNUでは、ナノインデターを用いて、IGZO薄膜の導電性分析を行い、様々な条件下で作ったIGZO薄膜のI-V sweepを比較し評価しました。実験をするばかりではなく、ノルウェーの教授や学生と意見を交わし合ったことで、とても良い刺激を受けたと思っています。また、自身の研究内容について英語で発表する機会もありましたが、初めての英語発表は、想像以上に難しいものがありました。特に質疑応答に苦勞してしまい、英語力の未熟さを実感いたしました。

初めて海外に滞在したということもあり、日本が恋しくなることもありましたが、充実した日々を過ごすことが出来たと思っています。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



産業科学研究所「ものづくり教室」開催

平成26年8月5日から7日までの3日間、小学校4～6年生を対象とした「ものづくり教室」を開催しました。今年は産研創立75周年を記念し「ものづくり教室2014スペシャル」と題して募集を行いました。教室の内容は産研技術室の特色を活かして、金属・ガラス・計測の3テーマから「アルミ缶を溶かしてメダルづくり」「ガラス細工で浮沈子づくり」「ペットボトルで顕微鏡づくり」として開催いたしました。

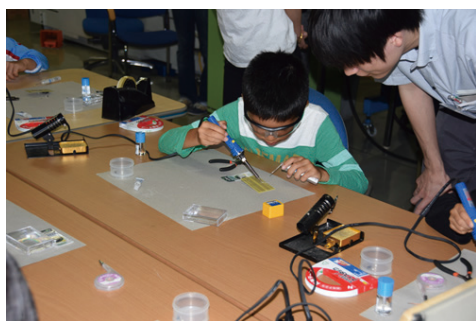
各テーマの工作は短時間で作れる内容にし、子どもたちが一日で全てのものづくりが体験できるよう

な構成で、参加した子どもたちは普段なかなか見ることのできない溶融した金属の姿や、炎の中で赤熱して形を変えるガラスの姿、植物の細胞や池の中に住む小さな微生物の姿などに目を輝かせ、驚きの声飛び交いました。

また、プログラムには産研の先生方の講演の時間を設け、産研の最先端の研究についてわかりやすく紹介していただき、講演は実験なども交えて行われ、保護者の方と一緒に科学の面白さと、大阪大学や産研について知ってもらえたかと思えます。

今年は277件の応募があり、抽選により3日間で52名が参加しました。子どもたちの安全性を考慮すると、少人数のクラスになってしまうため、たくさんの方の希望に添えなかったことが残念でなりません。

この「ものづくり教室」は平成18年から開催しており、今年で9回目を迎え産研の恒例行事となっています。これからも多くの子もたちに科学の面白さや、ものづくりの楽しさを知ってもらえるよう、この「ものづくり教室」を続けていきたいです。



武庫川女子大学附属高等学校ほか高校生の施設見学

8年目となった武庫川女子大学附属高等学校の見学会が、6月24日(火)に行われました。武庫川女子大附属高等学校はSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に採用されており、高等学校と大学の連携による先進的理数教育の一環として、1年生SSクラス88名が産研を訪れました。見学会では、吉田陽一広報室長から産研が紹介された後、永井健治教授、加藤修雄教授、能木雅也准教授、横田一道助教、村松大吾特任講師、近藤孝文助教、小林一雄助教、家裕隆准教授から高校生にも分かりやすい研究紹介が行われ、その後各研究室の見学が1時間あまり行われました。また、7月～8月にかけては、夏季体験の受け入れもいたしました。

このほか、大分県SSC(スーパーサイエンスコンソーシアム)、四條畷高等学校などからも見学を受け入れ、多数の生徒さんが研究の現場を見学されました。ご協力頂いた皆様、誠にありがとうございました。



夏季体験参加者の声

最初、アスピリンの合成実験をすると聞いたとき、そんなに難しそうなのが自分にできるかと不安になりました。しかし、先生方の丁寧なご指導のおかげで成功させることができたので、とても嬉しかったです。TLCや吸引る過のような今までにやったことがない作業はもちろんのこと、スポイトの正しい使い方など様々なことを学ぶことができ、とても勉強になりました。生成した物質の分析をする機械は思っていた以上に小さいものもあり驚きました。最後のクイズは、なかなか見つけられない物質もあり、方法を変えつつ最終的に発見することができ、とても嬉しかったです。

3日間、本当に充実した毎日をご過ごすことができました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

(「アスピリンの合成と天然生理活性物質を用いた種子発芽誘起試験」参加者)

今年の6月に一度来させていただいたとき、身近な発見から透明な紙という最先端のことをやっている研究室があることを知りました。実際に体験してみようと思い、今回の研究体験に参加しました。今回は、少人数での体験で、実際に自分たちで透明な紙を一から作ったり、普段使うことのない機器で透明度や耐久性を測定したりと貴重な経験ができました。

また、研究室の方々からも貴重な体験のお話や今後のことなどをお聞きすることができとても良かったです。是非また参加したいと思います。

(「植物から透明な紙をつくろう!」参加者)



2014産研フェスタ

7月18日(金)

恒例の産研フェスタが、7月18日(金)産研講堂で開催され、約300名の参加者と10店舗の模擬店出店がありました。まず、午後3時から炎天下の中、研究室対抗の大縄跳び大会が開催されました。午後5時半から開会式を行い、その後、産研創立75周年記念ロゴマーク制作者の古澤研・山本洋揮助教、フットサル大会優勝：大岩研、2位：加藤研・旧山口研、3位：田中研、大縄跳び大会優勝：加藤研、2位：中谷研(DANP)、3位：中谷研(NA)、4位：田中研と各イベントの表彰式が行われました。模擬店では、こだわりのメニューが多く赤字にはならなかったのでしょうか？恒例のバンド演奏や新たに産研フォトコンテストが登場するなど、盛況のうちに終了しました。

最後に、開催にご協力頂いた教授会、職員組合、院生会議、事務部、女子部の皆様、そしてご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



大縄跳び大会



フォトコンテスト



フットサル大会決勝 大岩研VS加藤研・旧山口研



産研創立75周年記念事業日程



日時	時間	内容	会場
11月7日	15:00~19:00	創立75周年記念 産研テクノサロン・スペシャル	千里ライフサイエンスセンター
11月27日	11:00~14:00	第17回産研定例記者会見	大阪大学 産業科学研究所
11月28日	10:00~13:00	研究所公開 (一般公開)	大阪大学 産業科学研究所
11月28日	14:30~19:30	創立75周年記念 特別講演会・式典・祝賀会	千里阪急ホテル
11月29日	9:30~12:00	研究所公開 (一般公開)	大阪大学 産業科学研究所
11月29日	13:00~16:45	創立75周年記念 第70回学術講演会 (一般公開) 特別講演 金出 武雄 特任教授(カーネギーメロン大学ロボット研究所、ワイタカー記念全学教授) 「面白くて、役に立ち、ストーリーのある」研究のすすめ」	大阪大学 産業科学研究所 講堂
12月10~12日		産研国際シンポジウム	グランフロント大阪

受賞一覧 (平成26年6月2日～平成26年9月30日)

土井 貴裕、笹井 宏明、滝澤 忍、 吉田 泰志、小寺 純平、佐古 真	シンポジウムモレキュラーキラリティポスター賞	シンポジウム モレキュラー・キラリティー 2014 実行委員会
Fernando A. Arteaga、 笹井 宏明、滝澤 忍、T.M.N.Nguyen、 岸 鉄馬、鈴木 通恭	エルゼビア ベストポスター賞	エルゼビア出版
西野 邦彦	平成25年度特別研究員等審査会専門委員 及び国際事業委員会書面審査員の表彰	独立行政法人 日本学術振興会
木村 卓弘、八木 康史、 榎原 靖、村松 大吾	MIRU学生優秀賞	第17回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU 2014)
岸 鉄馬、笹井 宏明、滝澤 忍、 Fernando A. Arteaga、平田 修一	平成26年度「有機合成若手セミナー」ポスター賞	日本薬学会近畿支部・有機合成化学協会関西支部
真嶋 哲朗	放射線化学賞	日本放射線化学会
長島 一樹	講演奨励賞	公益社団法人 応用物理学会
菅原 徹	講演奨励賞	一般社団法人 日本熱電学会



大阪科学賞 受賞

安藤 陽一 教授

表彰式・記念講演

日時: 10/29(水)16時30分～

場所: 大阪科学技術センター 8階大ホール

新任教職員一覧 (平成26年6月2日～平成26年9月30日)

平成26年6月16日 採用 特任研究員(客員准教授)(産業科学ナノテクノロジーセンター)	中川原 修
平成26年7月1日 採用 特任研究員(常勤)(複合知能メディア)	李 濼(LI Wei)
採用 事務補佐員(半導体材料・プロセス)	和田 忍
招へい 外国人研究員(産業科学ナノテクノロジーセンター)	Peerapon VATEEKUL
平成26年7月16日 採用 技術補佐員(複合知能メディア)	都甲 優美
採用 事務補佐員(複合知能メディア)	杉本 雅子
採用 事務補佐員(先端ハード材料)	瀧名 夕佳
平成26年8月1日 採用 特任研究員(常勤)(精密制御化学)	山田 剛史
採用 特任研究員(量子機能材料)	WANG Zhiwei
平成26年8月16日 採用 事務補佐員(量子システム創成)	渡邊 明子
平成26年9月1日 採用 特任研究員(量子機能材料)	GHATAK Subhamoy
採用 技術補佐員(生体分子機能科学)	久富 文
招へい 外国人研究員(客員准教授)(産業科学ナノテクノロジーセンター)	Stanislav JURECKA
平成26年9月16日 採用 事務補佐員(複合知能メディア)	中川 久美子

離任教職員一覧 (平成26年6月2日～平成26年9月30日)

平成26年6月30日 退職 特任事務職員(研究連携課研究協力係)	谷澤 美奈
退職 特任研究員(励起物性科学)	GIRET Yvelin Olivier Julien
退職 特任研究員(ナノテクノロジー設備供用拠点)	DINH Cong Que
退職 特任研究員(総合解析センター)	BUDAKOTI Asha
任期満了 外国人研究員(客員教授)(産業科学ナノテクノロジーセンター)	何 鵬(HE Peng)
平成26年7月1日 任期満了 外国人研究員(産業科学ナノテクノロジーセンター)	ARENAS Daniel Jose
平成26年7月31日 退職 特任研究員(量子機能材料)	NOVAK Mario
退職 特任研究員(先端実装材料)	藤澤 直毅
平成26年8月1日 所属換 技術補佐員(第2プロジェクト(セルロースナノファイバー材料))	柳生 瞳(先端実装材料から)
配置換 研究協力係主任	神田 幸代(理学研究科産学連携係主任へ)
平成26年8月18日 任期満了 外国人研究員(産業科学ナノテクノロジーセンター)	Peerapon VATEEKUL
平成26年8月31日 退職 特任助教(常勤)(励起分子化学)	崔 正權(CHOI Jungkweon)
退職 特任研究員(常勤)(バイオナノテクノロジー)	HE Yuhui
退職 特任研究員S(先端実装材料)	金 永錫(KIM Young Seok)
退職 事務補佐員(半導体量子科学)	中瀬古 智子
平成26年9月30日 退職 准教授(半導体量子科学)	前橋 兼三(東京農工大学大学院工学研究院 教授へ)
退職 特任教授(常勤)(バイオナノテクノロジー)	川合 知二(10月1日採用 特任教授(バイオナノテクノロジー))
退職 特任研究員(複合知能メディア)	白神 康平
退職 特任研究員(先端実装材料)	朴 世珉(PARK Semin)
退職 特任研究員(先端実装材料)	呉 哲ミン(OH Chul Min)
退職 特任研究員(先端実装材料)	張 昊(ZHANG Hao)

編集 後記

より魅力的で読みやすい産研ニュースレターを目指して前号でデザインを大きく変更しました。前号と本号を読んでの感想は如何でしょうか?本誌が産研で広く認知されたためでしょうか、本号では記事の募集をする前に多くの寄稿がありました。今後も、産研の多様で多面的な活動を紹介する記事の投稿をお願いします。
(磯山 悟朗)

産研ニュースレター 2014.10 第53号

発行: 大阪大学 産研科学研究所 編集: 産研広報室
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1 TEL&FAX: 06-6879-8524
URL: <http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/> E-mail: kouhou@sanken.osaka-u.ac.jp